

広報部会員による 就業現場レポート (第24回)

動物飼育業務



いのちを預かる現場で感じた
やりがいと想い



取材当日の就業会員さん

横十間川親水公園内にある「動物小屋」の就業現場を訪問し、会員の方にお話を伺いました。

自然に囲まれた穏やかな環境の中で、動物たちと向き合う日々。その現場には、仕事への責任感、やりがい、そしてさまざまな想いがありました。



就業時間 9:00～12:00

就業場所 横十間川親水公園 動物飼育小屋
及び尾高詰所

主な就業内容 鳥類の世話、小屋の清掃、
利用者への声かけ等

就業会員 3名(ローテーションで1日1名体制)

Q. 仕事を始めたきっかけを教えてください

A. 最初はSTOPさんや清掃の仕事をやっていましたが、動物飼育の仕事があることを知り、動物が好きだったため「やってみよう」と思ったのがきっかけです。

Q. 仕事で心がけていることはありますか？

A. 動物が快適な環境で過ごせるように心がけています。例えば、部屋が乾燥している時は、濡れたタオルを干して加湿するといった工夫をしていました。

Q. やりがいや、やって良かったと思う事がありますか？

A. 命を預かる業務なので、大きな責任感を持って仕事ができることがやりがいです。

Q. 仕事をしていて大変だったことはありますか？

A. 動物が病気になった時にスポイトで薬を飲ませることがありましたが、どうしても嫌がるため、手を噛まれないように手袋をして、上手く飲ませることが大変でした。

今回の取材を通して、自然に囲まれた環境の中で、動物と向き合うやりがいや責任の大きさを強く感じました。工夫を重ねながら大切にお世話をされている様子が印象的で、深い感銘を受けました。

今後、最後の一羽が旅立った時には、この仕事がなくなってしまうかもしれないと聞き、少し寂しく感じました。この仕事がこれからも続いてほしいと思うとともに、このような現場の大切さがより多くの人に伝わっていけばいいなと感じました。